

价电子活性水

价电子活性水是溶入了大量价电子的水。

其原本的目的是去除活性氧。

活性氧是形成疲劳、老化、生活习惯病之类的物质原因，是会导致身体不断累积酸化废物的危险物质。

能使这种活性氧无害化，就是价电子的机能之一。

但是，酸化是什么呢？

简单地说呈酸性就是，物质和氧结合起来。仅仅这么说虽然没错，但并不是真正的答案，正解是电子被夺去了。

所有的物质都是由原子组成的，原子中心的原子核周围围绕着若干电子。围绕原子最外侧的电子被称为价电子。原子间相互争夺这种价电子。被夺取价电子的那方呈酸性化，夺取价电子的那方得以还原。酸化后得以还原的原因正是由于夺取到价电子。

活性氧向周围的物质夺取价电子的能力非常强。而且，被夺取价电子的物质将呈酸化。反过来说，为了去除活性氧先给予活性氧必要的物质--价电子。这种酸化或还原的超强的力量用所谓的ORP酸化还原电位这种数值表示。中性的情况ORP是+200MV。相比较成为+一侧的呈酸化作用，另一侧则呈还原作用的效果。也就是说OPR的负数值越高去除活性氧的效果越好。

但OPR的负值变高会产生问题，就是PH值也会变高。PH值就是表示酸化或还原物质浓度的数值。

如果说OPR是表示酸化还原力量强弱的话，PH值则是表示酸化还原物质的量。酸性，碱性用PH值的表现形式加以区别。中性是PH值为7，以下是酸性，以上就是碱性。人体血液的PH值是7.4。也就是说水的PH值越接近7.4这个数值越容易渗透进人体内。

为了把活性氧无害化处理就必须向活性氧中加入价电子。为此，以往的想法是向水中投放活性氢等价电子物质。但问题是，这么做之后投放的物质会提高水的浓度，这种水很难被身体吸收。

价电子活性水就是解决OPR和PH值问题的革命性的水。要保持OPR-300mv以上的高抗酸化能力的PH值只能是8前后，也就是只能呈微弱的碱性。为什么这种事是可能的？并不是因为价电子活性水中含有价电子物质，而是因为水中含有大量的价电子。

运用本公司独自掌握的最新技术可以实现这种效果。

首先，水源是从成为地质遗产的鸟取县山阴海岸地质区域内汲取的地下水。用交流电向这种优质的原水中导入价电子，应用本公司独自取得专利的特殊电解装置技术，搭载一种单杆均衡启动器，成功使超细微气泡高浓度化，使价电子和氧安定化这种很难做到的事成为可能。

令人感到欣慰的结果是价电子活性水达到-300MW以上的高ORP值，凭借毫微化，依靠负的带电子发生相互地排斥，所以分子会时常保持运动。

因为水一直不停地动，所以不会变臭。

这种水并没有进行加热处理。虽然没有加热处理也因为以上的原理得以实现长期保存。

并且因为PH值是8前后呈弱碱性，具有适于饮用易于身体吸收的特征。

还能焕发人的活力，而且对人的身体很温和，这就是价电子活性水。

2013年8月13日

鸟取市福部町八重原684番地1
鸟取水株式会社

価電子活性水

価電子活性水とは、価電子がたくさん入っている水を差します。

そもそもの目的は、活性酸素の除去でした。

活性酸素は疲労や老化、生活習慣病などの原因となる物質で、身体を酸化つまり錆びさせてしまう危険な物質です。

この活性酸素を無害化するのに、価電子が機能するのです。

では、酸化とは何でしょうか？

酸性になる事、物質が酸素と結びつくこと、これは間違っていないですが、本当の正解ではありません、正解は電子が奪われてしまうことなのです。

全ての物質は原子で出来ています、原子は原子核を中心にいくつもの電子が取り巻く形をしています、原子のもっとも外側を取り巻いている電子を価電子と呼びます。この価電子は原子の間で取ったり、取られたりします。取られた方が酸化し、取った方が還元します。酸化還元の本体は価電子のやりとりなのです。

活性酸素の場合、周りの物質から価電子を奪う力がとても強いので、そして価電子を奪われた物質は酸化してしまいます。逆に言えば活性酸素を除去する為には活性酸素に価電子を与える物質が必要なのです。この酸化や還元をする力の強さは ORP 酸化還元電位という数値で表せます。中性の場合 ORP は+200MV です。それよりも+側になると酸化作用、-側ならば還元作用の効果があります。つまり ORP のマイナス数値が高いほど活性酸素を除去する効果が高いのです。

ところが ORP のマイナス値が高くなると問題も発生します。PH も高くなることです。

PH とは酸化還元する物質の濃度を表す数値です。

ORP が酸化還元する力の強さならば、PH は酸化還元する物質の量を表しています。

酸性、アルカリ性という区別も PH で表現されます。中性は PH 7 で、それ以下だと酸性、それ以上だとアルカリ性になります。人の血液の PH は 7.4 です。つまり PH が 7.4 に近い数値ほど体への浸透がしやすい飲みやすい水なのです。

活性酸素を無害化する為には活性酸素に価電子を与える必要があります。そのために活性水素等価電子を与える物質を水の中に取り入れる、これが従来の考え方でした。しかしそうすると、取り入れた物質の濃度が上がり、体が吸収しづらい水になってしまうことが問題でした。

価電子活性水はこの ORP と PH の問題を解決した革命的な水です。ORP-300mv 以上という高い抗酸化能力を持ちながら PH はわずか 8 前後、つまり微弱なアルカル性なのです。なぜこんな事が可能なのか？それは価電子活性水が価電子を持った物質ではなく、価電子そのものを大量に含んでいるからです。

その秘密は弊社独自の最新のテクノロジーにあります。

まず、原水は地質遺産にもなっている鳥取県山陰海岸ジオパークエリア内から地下水を汲み出しました。この良質な原水に交流電流で価電子を導入、さらに特許を取得した特殊電解装置と弊社独自の応用技術、エコラスループエンジン搭載により、超微細気泡高濃度化に成功、価電子と水素を安定化させる事が可能になったのです。

その結果、価電子活性水は-300MV 以上の高い ORP 値を誇るとともに、ナノ化することにより、マイナスの帯電子が反発し合い励起するため、分子が常時動き回ります。

よって、水が停留しないため腐りません。

そのため加熱処理をしていません。非加熱でも長期保存が可能なのです。

しかも PH8 前後という弱アルカリ性のため、飲みやすく体に浸透しやすいのも特徴です。

人の活力を引き出す水、そして人の身体に優しい水、それが価電子活性水なのです。

2013 年 8 月 13 日

鳥取市福部町八重原 684 番地 1
鳥取ウォーター株式会社